



大徳寺(昭和4年)

竹久夢二展

平成6年

平成7年

12月24日(土) - 1月29日(日)

開館時間=午前9時-午後5時(入館は午後4時30分まで) ※初日開館午前11時

休館日=12月26日(月)、28日(水)~1月4日(水)

1月9日(月)、17日(火)、23日(月)

主催=刈谷市・刈谷市教育委員会・夢二郷土美術館・中日新聞社

後援=愛知県教育委員会

入場料=一般800円(600円)・学生<小・中・高・大学生>500円(300円)

※()内は前売り及び20名以上の団体料金

刈谷市美術館

〒448 愛知県刈谷市住吉町4-5 TEL0566-23-1636 FAX0566-26-0511
JR東海道本線・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分無料駐車場有



時代人物図(大正中期)



はた織り(昭和初期)



春隣(昭和初期)

竹久夢二展

竹久夢二は、明治17年岡山県邑久郡(現在の邑久町)に生まれました。彼は「宵待草」に代表される漂泊の詩人として、また、大きくつぶらな瞳、夢見がちで憂いをふくんだ表情、たおやかな姿態の「夢二式美人」を生みだした画家として知られています。油彩、水彩、ペン画から軸物、屏風の日本画まで、数多くの作品を描きながらも、昭和9年その生涯を閉じるまで、「画壇」に属することなく独自の芸術をつくりあげました。

一方、絵本や絵葉書などの装丁や小間物類のデザインなど、生活美術、商業美術の分野におけるイラストレーター、グラフィック・デザイナーの先駆者として幅広く活躍した芸術家でもありました。

「大正」という時代を背景に、近代のロマンティズムと真情をせつなく多感に歌いこんだ彼の作品には、郷愁とともに自ら画家として強く自覚していた夢二の生なる情感が感じられ、今なお人々の心をとらえ魅了しつづけています。

本展は、夢二郷土美術館の所蔵する日本画、水彩画をはじめ、日本のオールニューウォーに影響を与えた著作本や装丁本など160余点により、抒情豊かな夢二芸術を紹介いたします。



南枝早春(昭和初期)



紅梅(昭和初期)

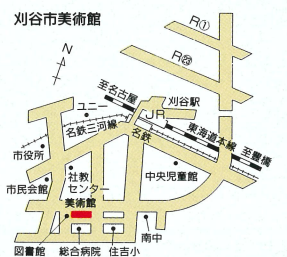


襟名の雪(昭和初期)

刈谷市美術館

■所在地
〒448 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
TEL0566-23-1636 FAX0566-26-0511

■交通案内
駐車場に限りがありますので、
JR東海道本線・名鉄三河線
〔刈谷駅〕下車、南口から徒歩7分を
ご利用ください。



竹久夢二展

●本券では入場できません。当日、本券を受付にお出し下さい。1枚につき1名様限り下記割引料金にてご鑑賞いただけます。
一般800円→700円/学生<小・中・高・大学生>500円→400円

割引券

竹久夢二展

●本券では入場できません。当日、本券を受付にお出し下さい。1枚につき1名様限り下記割引料金にてご鑑賞いただけます。
一般800円→700円/学生<小・中・高・大学生>500円→400円